



Franz Siegert, violin



Till Schüßler, violoncello

石鍋妙子とウィーンの演奏家たち

ヴァイオリン=フランツ・ズーゲルト チェロ=ティル・シュスラー

*Taeko Ishinabe
und Musikfreunde aus Wien*

2019

12/1 《日》 14:00 開演
(13:30 開場)

銀座 王子ホール

全自由席 ¥4,000

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

◎ご予約

ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552

チケットぴあ <http://pia/t/>

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990

Web チケットの王様 <http://www.soleilmusic.com>

Program

ハイドン：ピアノ三重奏曲 第25番 ト長調
Hob.XV:25 「ジプシー・トリオ」

J. Haydn: Klaviertrio Br.39 G-Dur Hob.XV:25 "Gypsy"

フォーレ：エレジー ハ短調 作品24

G. Fauré: Elegie c-moll Op.24

ラフマニノフ：ヴォカリーズ 作品34-14

S. Rachmaninoff: Vocalise Op.34-14

クライスラー：プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ

F. Kreisler: Præludium und Allegro: im Stile von Gaetano Pugnani

クライスラー：愛の悲しみ、美しきロスマリン

F. Kreisler: Liebesleid, Schön Rosmarin

ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8

J. Brahms: Klaviertrio Nr.1 H-Dur Op.8

Taeko Ishinabe und Musikfreunde aus Wien

Profile

石鍋妙子 Taeko Ishinabe, piano

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。モーツァルトウム音楽院国際夏期セミナー、ワルシャワショパンセミナー、レンク国際夏期音楽アカデミー、ウィーン音楽セミナー修了。A. ヤシンスキ、P. B. スコダ、H.C. ステファンスカ、Y. エキエル各氏等のレッスン受講により研鑽を積む。82年 NHK-FM「午後のリサイタル」に出演。89年、93年、99年、06年、14年にサントリーホール、東京オペラシティ、王子ホールなど東京にてソロリサイタルの他、ルーマニア、日本各地にて開催する。

85～08年大野和土指揮東京シティフィルハーモニック管弦楽団を始め、エネスコ交響楽団（2回）、オラディア交響楽団、バカウフィルハーモニー、ボトシャニ交響楽団、大宮フィルハーモニー管弦楽団と協演。

室内楽においては、エネスコ交響楽団、オラディア交響楽団、ヤシ歌劇場管弦楽団の各メンバーと、ブカレストを始めとするルーマニア各地において共演する。また東京での03年からの「コンサートシリーズ」は今年で16回目を迎え、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団、アドリアン・コックス (Pf)、ウルリーケ・ダンホーファー (Vn)、アダルベルト・スコッチチ (Vc) 各氏と定期的に共演し、ウィーンにおいてもコンサートを行う。

83～04年東京工学院専門学校音楽芸術科ピアノ科講師。ピアノを久富綾子、澤田紀子、ヤン・ホラーク、カラ・ジュディチの各氏に、ピアノと室内楽をアドリアン・コックス氏に師事。



フランツ・ズィーゲルト Franz Siegert, violin

1981年ドレスデン生まれ。2009年よりウィーン放送交響楽団のコンサートマスターを務める。

16歳よりトロッシゲン音楽大学の高才能クラスでルドルフ・ランプ教授に師事、その後ウィーン国立音楽大学でクリスティアン・アルテンブルガー教授に師事、2009年最高位の賞を得て卒業する。また、コロラド州アスピンのマスタークラスで、ドロシー・ディレイ、クルト・サスマンスハウスから重要な芸術的刺激を受ける。

在学中からグスタフ・マーラー青少年管弦楽団のコンサートマスターを務め、2007年にはヨーロッパ文化財団賞を受賞する。またバイエルン国立歌劇場、バイエルン国立管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団（ロンドン）、ウィーン室内管弦楽団、グルベンキアン管弦楽団（リスボン）、バスク国立管弦楽団（サン・セバスチャン）のゲストコンサートマスターとして招かれる。名指揮者クラウディオ・アバドの招待で、ボローニャのモーツァルト管弦楽団にも在籍。

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として度々来日。昨年カルクリーナ・ピアノトリオのメンバーとしてアメリカツアーを行う。2018年よりリンツのブルックナー管弦楽団の客員コンサートマスターにも就任。



ティル・シュスラー Till Schüßler, violoncello

シュトゥットガルトに生まれる。8歳で兄妹とのピアノトリオをはじめ、公の演奏活動を行う。

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベンの両教授に師事。その間、アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク弦楽四重奏団にも師事。1989年ハーグ国際音楽コンクールなど数々のコンクールで受賞。

ウィーン室内管弦楽団首席チェロ奏者を経て、現在ウィーン放送交響楽団奏者。また室内楽奏者としてもウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団奏者として度々来日する他、多量の編成でヨーロッパ、アジアの各地で活躍。

演奏の傍らウィーン・プライナー音楽院の教授を経て、夏期講習、マスタークラスなどで後進の指導に当たる。演奏楽器：ペルナルデル

王子ホール ご案内

東京都中央区銀座 2-10-2 TEL.03-3544-7111

[交通のご案内]

- 地下鉄「銀座」駅下車 A12出口より徒歩1分。
- 地下鉄「東銀座」駅下車 A2出口より徒歩2分。
- 地下鉄「銀座一丁目」駅下車 9出口より徒歩5分。
- JR「有楽町」駅下車 銀座口より徒歩7分。

